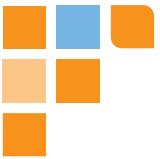




C O R P O R A T E P R O F I L E



まちを想い 未来を創る

日本の中核機能を担う東京。

東京都の中央に位置するまち立川市。

にぎわいとやすらぎの交流都市を目指す立川市に
わたしたち、立飛グループはあります。

立川と共に歩む企業として、

不動産事業を通じて地域社会に貢献すること。

それがわたしたちの使命です。

President's Message



立飛グループは 立川飛行機を前身とする会社です かつては約50機種1万機弱の飛行機（「赤とんぼ」「隼」等）を製造し 在籍総人員数が4万2千余を数えた時期もありました 戦後GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）に所有不動産を接收されましたが 昭和52年の全面返還後は 不動産賃貸業を中心に事業を展開してまいりました

平成24年に 立飛グループが抱える資本政策上・事業政策上の問題を解決することを主目的として グループ内上場2社（立飛企業株式会社 新立川航空機株式会社）を同時に非公開化し グループの再編を行いました

非公開時に市場を通じて グループの所有不動産を一体開発して地域社会に貢献すると約束し「ららぽーと立川立飛」（平成27年12月 三井不動産株式会社との共同事業） 「タチヒビーチ」（平成29年7月） 「アリーナ立川立飛」（平成29年10月） 「Fuji赤とんぼ保育園」（平成30年4月） 「ドーム立川立飛」（平成30年8月）を順次開発するとともに 大相撲巡業 流鏑馬（小笠原流） 「東レ パン パシフィック オープンテニストーナメント 2018」など 地域の皆さんに喜んでいただけるイベントを誘致してまいりました

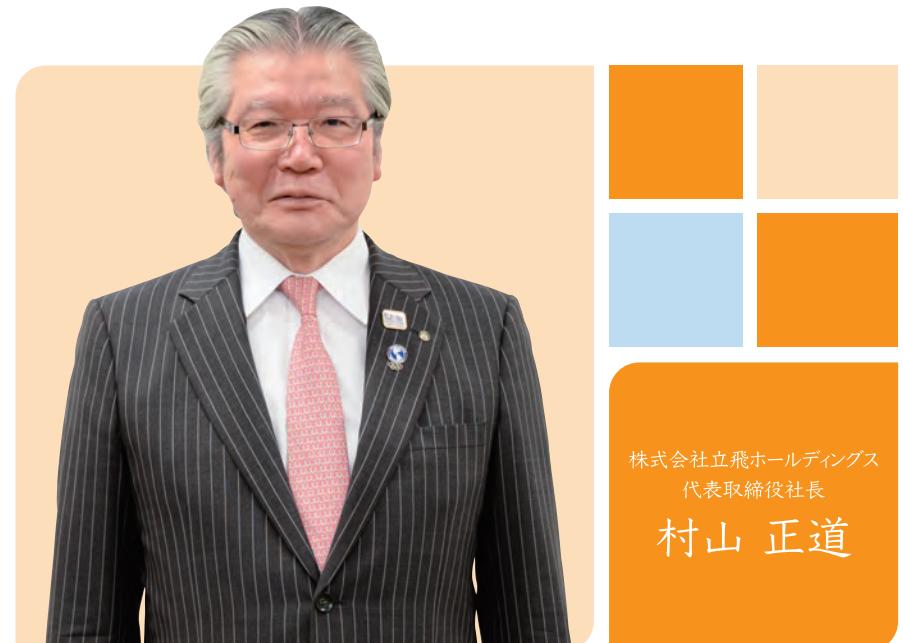
また 平成27年2月に取得いたしました立川駅北側の約3.9haの旧国有地（みどり地区） 街区名称「GREEN SPRINGS」では 2,500席規模のホール「TACHIKAWA STAGE GARDEN」 ホテル「SORANO HOTEL」などの大規模複合開発を進めているところであります

当社グループが保有する約98万m²の土地は 立川市のはば中央に位置しており それらの一体開発は 立川市はもとより多摩の全域に影響を及ぼすことが可能な立地であると強く認識するとともに 責任を感じるところでございます

これからも 地域社会に貢献できる会社を目指してまいります

今後とも 皆さまのより一層のご支援 ご協力を賜りますよう よろしくお願い申し上げます

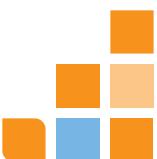
「愛を 夢を 幸を
この街のみらいに」

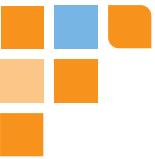


株式会社立飛ホールディングス

代表取締役社長

村山 正道





Our Policy

経営理念



不動産事業を中心
従業員の**幸**せを通じて社会貢献する



Corporate Logo

コーポレートマーク



TACHIHI
Traditional
Orange

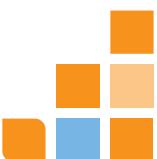
躍進・活力・融和

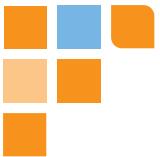
TACHIHI
Sky Blue

誠実・信頼・調和

かつて 陸軍飛行練習機「赤とんぼ」戦闘機「隼」の製作を手掛けた「立川飛行機」以来の伝統とグループが所有する広大な土地の上に広がる空に思いを馳せ その空を飛翔する「飛」をイメージし 立飛企業株式会社と新立川航空機株式会社 中核2社を「幸せをすくいあげる両手」で表現しつつ それらがひとつになった姿として「赤とんぼ」に使用した伝統色のオレンジと無限の広がりをもつ「空」のブルーに託し 明日に向かって飛躍することを表しております

(平成24年11月1日制定)





Real Estate

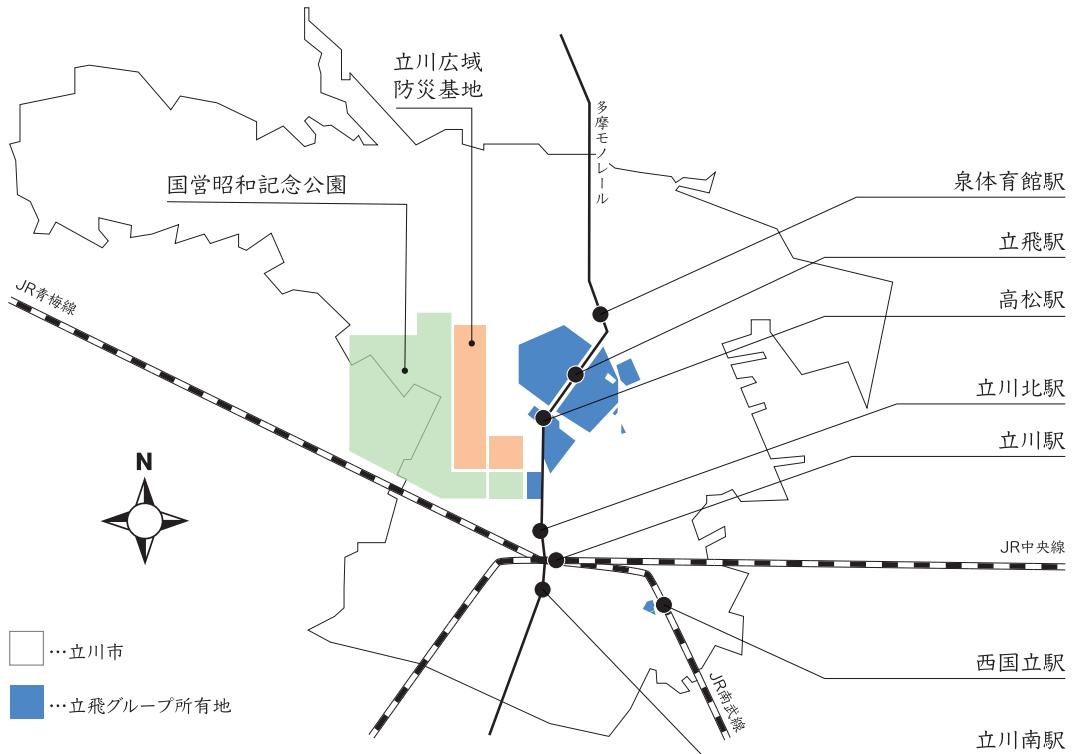
所有不動産について



立川と共に歩む企業として、
地域社会と調和のとれた
まちづくりに取り組みます。

東京都多摩地区の中心都市である立川市。
立飛グループは立川市のほぼ中央に
立川市域の約 25 分の 1 にあたる約 98 万m²の土地を所有しています。





不動産開発の基本方針（3原則）

平成26年2月28日制定

1. 所有する不動産について、その歴史、立地、面積に起因する社会的責任を自覚し、再開発にあたっては地域社会との調和を図る
2. 持続的な地域社会へ貢献を可能とし、それを支える事業基盤の確立を図る
3. 当社グループが主体性をもって不動産開発を推進する

所有不動産の一体再開発についての計画を、外部の専門家等の提案を受けながら策定しています。敷地が広大なこと、多様な利用契約による制約が複雑なことから、必然的に長期間に亘る開発となります。
一貫性のある再開発を行うために、同方針を策定いたしました。

立地

立飛駅、泉体育館駅から
新宿駅まで約**45分**

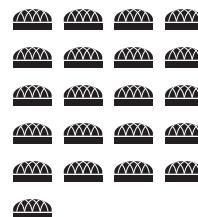
所有地の中央部に位置する立飛駅、泉体育館駅から新宿駅まで約45分、東京駅まで約1時間とアクセス性に優れた立地です。



敷地面積

東京ドーム約**21**個分

立飛グループが所有する敷地は約98万m²。東京ドーム約21個分。これは立川市全体の広さの約25分の1にあたります。さらにそのほとんどが立川市の中心部、立川駅から約2km圏内に位置しています。

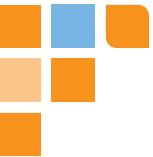


所有物件棟数

約**130**棟

倉庫	オフィス	工場・店舗・その他
41%	19%	40%

立飛グループが所有する物件棟数は約130棟。
倉庫、オフィスを含めさまざまなニーズにお応えします。



Business

事業紹介



立飛グループは**6**つの事業を中心
新たな価値を創造します。

飛行機づくりから始まった立飛。
時が流れ、不動産事業主体となった今も
「時代とともに変化し続ける精神」のもと
多様に変化する社会的ニーズに対しグループ一丸となって、
迅速かつ的確に価値を提供し続けます。



01 Real Estate Leasing

不動産賃貸

所有する倉庫、オフィスビル、店舗や土地等、法人の皆様のニーズに合わせて最適な物件を提供しています。グループ収益を支える主力事業です。



03 Facility Management

施設管理

建物や設備を良い状態に保つため、定期的な点検や補修工事、故障の修理対応等を行っています。その他、清掃、植栽管理、電気設備の保守点検等、幅広いサービスでお客様のニーズに対応しています。

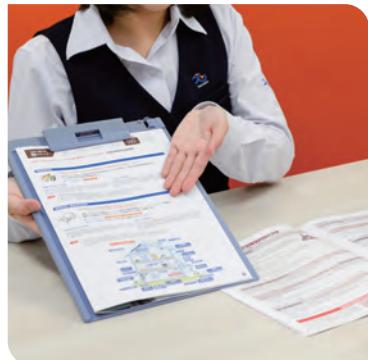


05 Insurance Agency

保険代理店

自動販売機による商品の販売
電算事務

自動販売機による飲料水等の販売や保険提案を通じて、お客様のニーズに合わせたサポートを行っています。



02 Real Estate Development

不動産開発

所有する約98万m²の土地の歴史、立地、規模による社会的責任を自覚し、地域社会との調和を図る不動産開発に取り組んでいます。



04 Security Services

警備

お客様と地域の皆様の安心と安全を願い、訓練により培われた高い警備技術と自衛消防技術を基礎として、警備(常駐・施設・交通誘導、雑踏等)業務に取り組んでいます。



06 Hotel Business

ホテル事業

心身ともに健康的で心地よい状態を意味する「ウェルビーイング」をコンセプトに、街区「GREEN SPRINGS」内に開業した「SORANO HOTEL」の運営に取り組んでいます。





スポーツの感動を、立川で。

スポーツ施設の開発を通じて、まちの活性化、
賑わいの創出に取り組んでいます。

Tachihi Station Area Development Projects

立飛駅周辺の開発



立飛グループの前身「立川飛行機」が駅名の由来である

多摩モノレール 立飛駅。

立飛駅は、グループ所有地のほぼ中央にあります。

2012年に実施したグループ再編後、地域経済への貢献を目指し、
立飛駅周辺をはじめ、所有不動産の開発事業に取り組んでいます。

📍 MFLP立飛(2020.6竣工予定)



📍 Fuji赤とんぼ保育園(2018.4開業)



スポーツの感動を、立川で。

スポーツ施設の開発を通じて、まちの活性化、
賑わいの創出に取り組んでいます。

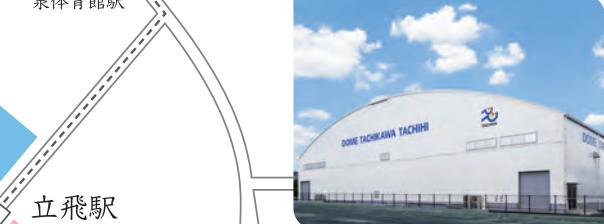
📍 タチヒビーチ(2017.7開業)



📍 アリーナ立川立飛(2017.10竣工)



📍 ドーム立川立飛(2018.8竣工)



📍 ららぽーと立川立飛(2015.12開業)



笑顔あふれる、TACHIHI。

大型商業施設や企業主導型保育所の設置を通じて、
子育てしやすいまちづくりに取り組んでいます。

立飛みどり地区プロジェクト

GREEN SPRINGS

— 空と大地と人がつながる、ウェルビーイングタウン —



100年つづく、新しいしあわせを、
立川から世界へ。

当社は、JR立川駅北口から徒歩8分の場所に位置し、国営昭和記念公園に隣接した緑豊かなエリアに、街区「GREEN SPRINGS」を開発しました。

「GREEN SPRINGS」では、心身ともに健康的で心地良い状態を意味する「ウェルビーイング」をコンセプトに、新しいライフスタイルを立川から世界へ発信することを目指します。

多摩地区最大規模の約2,500席を収容できる多機能ホール「TACHIKAWA STAGE GARDEN」、最上階に温泉水を使った全長60mのインフィニティプールを有する「SONORA HOTEL」、ライフスタイルを彩る約40の店舗や多様なワークスタイルを叶える次世代型オフィスを備えます。

SORANO HOTEL(ホテル)



PARK(中央広場)



TACHIKAWA STAGE GARDEN(多機能ホール)

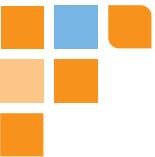


OFFICE(オフィス)



SHOPS&RESTAURANTS
(ショップ・レストラン)





Social Contributions

地域社会とともに



立飛グループは立川と共に歩む企業として、
「地域で一番愛される企業」を目指し、
スポーツ、文化や環境等さまざまな分野を通じて、
地域貢献活動に取り組みます。



- ・各種スポーツチームへの協賛
- ・夏巡業 大相撲立川立飛場所の開催
(2016年/2018年/2019年)
- ・立川シティハーフマラソンへの協賛

and more...

- ・飛行機の修復及び見学会の実施
- ・立川立飛流鏑馬の開催
- ・ファーレ立川アート修復事業への支援
- ・アールブリュットへの支援

and more...

- ・所有地内の外灯をLED化
- ・花のあるまち推進事業への協賛
- ・クールビズの実施
- ・日本極地研究振興会の
SDGs/ESD事業への協賛

and more...

Our Vision

未来像



さらなる成長を目指して

かつて飛行機製作を通じて我が国の国策に大きく貢献し、長年に亘り、立川の地に存続してきた立飛グループ。

伝統を継承しながらも新しい方法（不動産開発）で、立飛のブランドや存在意義を再構築することを目指し、2012年、新生・立飛グループが誕生しました。

大規模・好立地の不動産を保有する社会的責任を認識し、これからも不動産開発やさまざまな活動を通じて、教育・文化・芸術・スポーツ等の分野で地域に貢献することを目指してまいります。

未来像 Vision

- 人(Everyone)を幸せにするために存在する企業
- 立川と共に歩む企業
- Only oneを目指す企業
- 地域で一番愛される企業

目標 Target

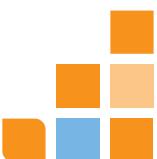
- 永続発展的な企業価値(純資産価値・収益力)の向上
- 地域経済・社会経済への貢献

責任 Responsibility

- 大規模・好立地の不動産という社会資本財を持つ会社としての責任
- 上場会社2社の株主からMBOによってすべての株式を取得した責任

再構築 Re-Structure

2012年、所有不動産の一体開発を目的に、終戦により分かれたグループ内2社を再統合しました。





Company History

沿革



立飛グループの創業は1924年。

現在の東京都中央区月島に

飛行機の製作工場として設立したことに始まります。

株式会社石川島飛行機製作所	
1924 (大正13年)	11月 ● 飛行機の設計、製作、販売を事業目的として株式会社石川島飛行機製作所を設立、現在の東京都中央区月島に工場新設。
1930 (昭和5年)	3月 ● 月島工場を廃止、工場を立川へ移転。
1934 (昭和9年)	12月 ● 军用制式機「九五式一型練習機」(赤とんぼ)を製作(製作累計2,398機)。
	 写真提供:航空ファン 陸軍九五式一型練習機「赤とんぼ」▲
立川飛行機株式会社	
1936 (昭和11年)	7月 ● 立川飛行機株式会社に商号変更。
1943 (昭和18年)	● 中島飛行機株式会社からの転換生産である一式戦闘機二型・三型「隼」を製作(製作累計2,494機)。
1945 (昭和20年)	9月 ● 終戦により事業閉鎖、会社施設の大半を連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)が接收。事業閉鎖時の在籍総人員は42,332名。
1946 (昭和21年)	8月 ● 会社経理応急措置法により1946年～1955年まで特別経理会社に指定。
1949 (昭和24年)	11月 ● 企業再建整備法により、立川飛行機株式会社の現物出資で第二会社として「タチヒ工業株式会社」(後の新立川航空機株式会社)を認可設立。決定整備計画の認可により会社解散の登記。
立飛企業株式会社	
1949 (昭和24年)	11月 ● 収容を免れた江ノ島工場等の設備により、鋳金関係各種製品の製造販売業務を開始。
1951 (昭和26年)	4月 ● 立飛通商株式会社(現株式会社立飛プロパティマネジメント)を設立。
1952 (昭和27年)	11月 ● 立飛工業株式会社に商号変更。 ● 戦後国産第一号機R-52型軽飛行機(JA-3017号)完成。 11月 ● 新立川航空機株式会社に商号変更。  戦後国産第一号機「R-52型軽飛行機」▲
新立川航空機株式会社	
1953 (昭和28年)	● R-53型軽飛行機(JA-3070号)完成。
1954 (昭和29年)	● R-HM型軽飛行機(JA-3094号)完成。
1955 (昭和30年)	5月 ● 株主総会の決議により会社を継続、立飛企業株式会社に商号変更。施設(立川製造所(現東地区、西地区))の賃貸が主要な事業となる。
1956 (昭和31年)	11月 ● 石川島播磨重工業株式会社(現株式会社IHI)と技術、経営両面で提携。
1961 (昭和36年)	10月 ● 東京証券取引所市場第二部に上場。 川崎工場(現栄地区)新設、新立川航空機株式会社の製品販売を推進。 ● 東京証券取引所市場第二部に上場。
1962 (昭和37年)	5月 ● 立飛通商株式会社の商号を株式会社立飛(現株式会社立飛プロパティマネジメント)に変更。
1964 (昭和39年)	11月 ● タチヒリペーセンターを開設、自動車整備、ガソリンスタンドの営業を開始。
1973 (昭和48年)	6月 ● 立川工場(現南地区)が米軍より返還され、自社使用分を除く設備により不動産賃貸業務を開始。
1976 (昭和51年)	5月 ● 立川製造所(現東地区、西地区)が米軍より返還となり、土地建物を貸倉庫並びに自動車置場として賃貸、以後不動産賃貸部門の強化を図り、自動車整備、ガソリンスタンドを縮小。
1977 (昭和52年)	11月 ● 一部未返還となっていた土地が返還され、接收されていた全資産が返還となった。
1982 (昭和57年)	6月 ● 株式会社立飛の商号を立飛開発株式会社(現株式会社立飛プロパティマネジメント)に変更。
1987 (昭和62年)	8月 ● 泉興業株式会社(現株式会社立飛サービス)設立。
1990 (平成2年)	6月 ● 自動車整備工場及び製造販売部門を廃止。栄地区に賃ビルを建設し、不動産賃貸の充実強化を推進。
1995 (平成7年)	8月 ● ビル・サービス部門を独立し、平成造園株式会社(現株式会社立飛リアルエステート)を設立。
	5月 ● 立川製造所(現東地区、西地区)の一部地域(多摩モノレール軌道周辺)が市街化調整区域から市街化区域へ指定替え。
	● …新立川航空機株式会社
	● …株式会社立飛ホールディングス

【凡例】 ●…株式会社石川島飛行機製作所

●…立川飛行機株式会社

●…立飛企業株式会社

●…新立川航空機株式会社

●…株式会社立飛ホールディングス

1998
(平成10年)

11月 ● 多摩モノレールが部分開業し、立川製造所(現東地区、西地区)内に立飛駅及び高松駅が建設される。

2003
(平成15年)

7月 ● 平成造園株式会社を立飛メンテナンス株式会社(現株式会社立飛リアルエステート)に商号変更。

2004
(平成16年)

6月 ● 立川製造所(現東地区、西地区)全域が市街化調整区域から市街化区域へ指定替えされる。用途地域は、準工業地域に指定。

2006
(平成18年)

3月 ● 構内中央を通過する多摩モノレール軌道下道路が公道(東大通線)として開通。立川製造所の名称を、東地区、西地区に変更。

12月 ● 2006年3月に社有地の一部を含む「立川基地跡地開連土地区画整理事業」の整備工事が終了し、換地として現高松地区(20,242.72m²)が整備された。

2007
(平成19年)

3月 ● 立川工場(現南地区)内の事業部門(製造事業)を江ノ島工場へ集約。

2011
(平成23年)

8月 ● 2社に分断した所有不動産の一体開発による地域経済への貢献を主目的に石戸敏雄(前新立川航空機株式会社代表取締役社長)及び村山正道(前立飛企業株式会社代表取締役社長)によりMBOが実行される。

2012
(平成24年)

1月 ● MBO実施により、東京証券取引所市場第二部上場廃止。
4月 ● 株式会社立飛ホールディングスを完全親会社とする株式交換により、同社の完全子会社となる。

6月 ● 事業部門(江ノ島工場)を新設会社新立川航空機株式会社へ分割。

10月 ● 開発対象外の特定不動産の所有及び賃貸を、新設会社株式会社立飛リースホールドへ新設分割。

株式会社立飛ホールディングス

2013
(平成25年)

11月 ● グループ事業再編が完了し、新生立飛グループとして所有不動産の一体開発の検討を開始。

3月 ● 新立川航空機株式会社(分割新会社)の事業部門(江ノ島工場)が終了。立飛開発株式会社(現株式会社立飛プロパティマネジメント)が東京都公安委員会より警備業の認定を受ける(認定番号第30003815号)。

2013
(平成25年)

9月 ● 大型商業施設用地に転用のため、立飛開発株式会社(現株式会社立飛プロパティマネジメント)にて30年余運営してきたゴルフ練習場事業を終了。

4月 ● 「R-53型軽飛行機」及び「R-HM型軽飛行機」の2機を修復し一般公開。



11月 ● グループ創立90周年。
たっぴくん・たっぴちゃん登場。

2月 ● 立川駅北側国有地(現みどり地区38,878.07m²)を取得。

4月 ● 「オープンファクトリー2015春」開催。松本零士氏作成の「赤とんぼ」「A-26」イラスト贈呈式を行う。

7月 ● 株式会社立飛ストラテジーラボ設立。



「ららぽーと立川立飛」▲

12月 ● ららぽーと立川立飛開業。

8月 ● 勧進元として、平成28年夏巡業 大相撲立川立飛場所を開催。

2016
(平成28年)

10月 ● アリーナ立川立飛の運用開始。

11月 ● 立川立飛流鏑馬開催。

2017
(平成29年)

2月 ● 「立飛みどり地区プロジェクト」着工。

4月 ● Fuji赤とんぼ保育園(企業主導型保育所)開業。

8月 ● 平成30年夏巡業 大相撲立川立飛場所開催。
ドーム立川立飛竣工。

9月 ● 「東レ パン パシフィック オープンテニストーナメント 2018」誘致。

11月 ● パンナムスポーツとの「覚書調印式」開催。

12月 ● 株式会社立飛スピタリティマネジメント設立。

2018
(平成30年)

1月 ● パンナムスポーツとの「覚書調印式」開催。

製品紹介 -ものづくりの歴史-

1949年(昭和24年)～2013年(平成25年)

戦後、飛行機製造で培った技術・精神を生かし、洗濯機、カーヒーターから機械式駐車装置に至るまで数々の製品を製作しました。



1954
(昭和29年)

● タチヒ電気洗濯機生産開始。



「タチヒ電気洗濯機」▲

1958
(昭和33年)

● 工場用暖房機(ユニットヒーター)、J-47ジェットエンジン部品生産開始。



「モノポールリフト」▲

1961 10月

● カーヒーターの製造販売を開始。

1963 10月

● 自動車用エレベータ(カーリフト)生産開始。
二段昇降式駐車装置開発。

1965 9月

● 輸出用ステレオ、ラジオの製造販売並びに機械部品加工事業を開始。

1968

● 紙塗工機用スキップドライヤー生産開始。

1971

● I柱式自動車整備用リフト、二段昇降式駐車装置、業務用食器洗浄機生産開始。

1979 6月

● T-64、TF-40、F-100、T-56ジェットエンジン部品、宇宙ロケット用部品生産開始。



「機械式駐車装置(スペースキット)」▲

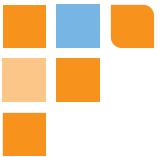
1987 5月

● 機械式駐車装置(スペースキット)シリーズ生産開始。
抄紙機ヘッドボックス用ハニカルチューブ生産開始。

2007 12月

● 江ノ島工場(事業部門)「品質マネジメントシステム「ISO9001」及び「航空宇宙品質マネジメントシステム「JISQ9100」を認証取得。



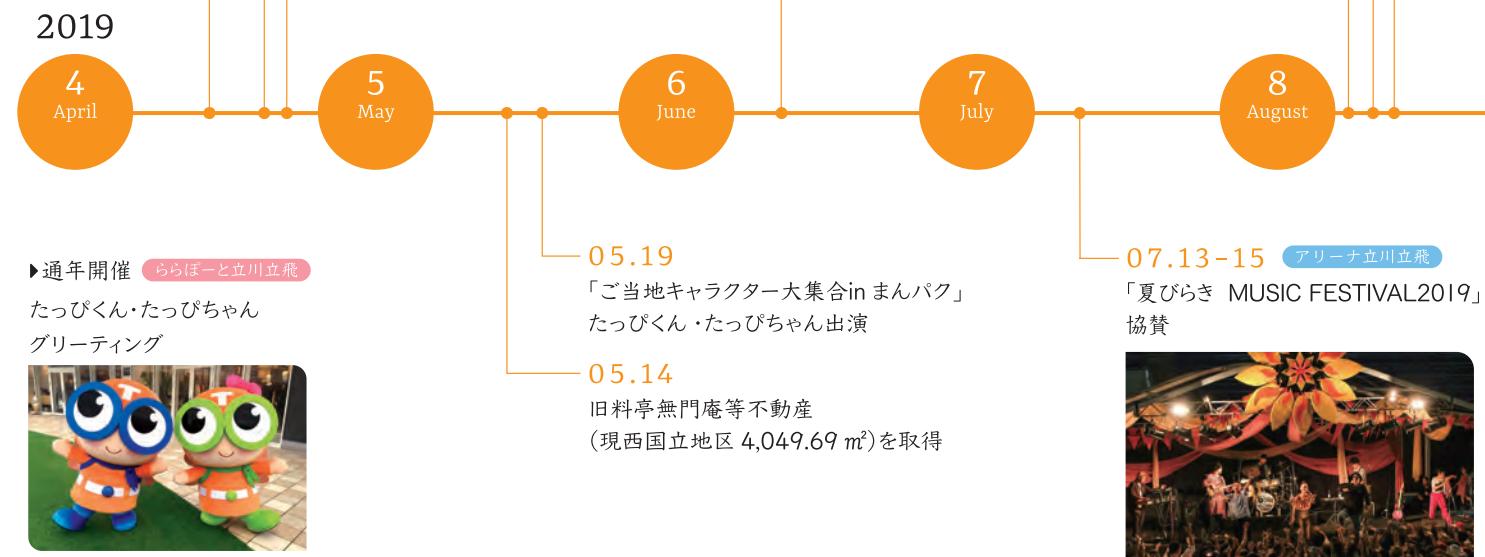


Current Year

——立飛グループのこの1年——



立飛グループは、立川と共に歩む企業として、
地域社会へ貢献したいという思いのもと、
さまざまな活動に取り組んでいます。



— 08.01

たっぴくん・たっぴちゃん「ゆるキャラ®グランプリ2019」出場
(結果:企業・その他部門 17位)

— 08.03

「第31回立川よいと祭り」参加

— 08.06 アリーナ立川立飛

「2019年 夏巡業 大相撲立川立飛場所」開催



9
September

10
October

11
November

12
December

2020
January
1

February
2

March
3



09.01 アリーナ立川立飛
「立川・府中アスレティックFC」冠試合開催
※全2回(&12月21日)開催

11.02

「国営昭和記念公園 紅葉まつり2019
ライトアップ点灯式」たっぴくん・たっぴちゃん出演

12.23

「令和元年度
スポーツエールカンパニー」認定



11.23

「令和元年度東京都
スポーツ推進企業」認定



11.09

立川防災航空祭に修復飛行機(R-HM)を出展

11.03 アリーナ立川立飛 ドーム立川立飛
日本将棋連盟主催
「第116回職域団体対抗将棋大会」特別協賛

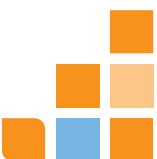


02.01

アリーナ立川立飛 ドーム立川立飛
「立飛のコトブキ航空祭」協賛



03.26 GREEN SPRINGS
新街区「GREEN SPRINGS」
竣工式開催





Company Overview

会社概要



会社設立年月日	平成23年7月26日 (グループ創立年月日 大正13年11月1日)
本社所在地	〒190-8680 東京都立川市栄町六丁目1番地 立飛ビル3号館 TEL 042-536-1111(代表)/FAX 042-536-1272
代表者名	代表取締役社長 村山正道
資本金	15百万円
株主	株式会社立飛パートナーズ
事業内容	グループ持株会社 グループ経営方針策定 グループ財務・広報 グループ総務・経理 グループ及び自社所有不動産開発 新事業推進 宅地建物取引業(東京都知事(2)第95692号)
グループ従業員数	275名(嘱託を含み役員顧問は含まない)

令和2年4月1日現在

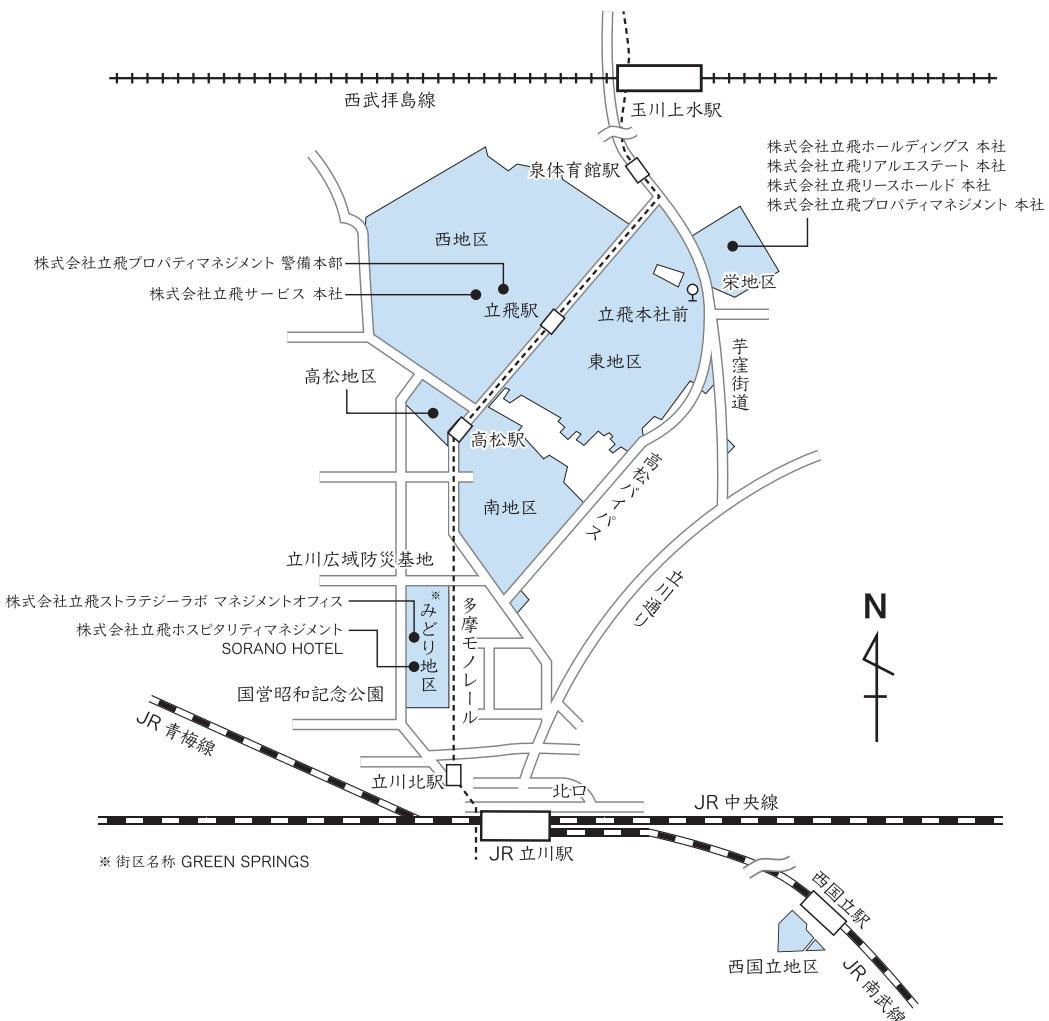
TACHIHI Group

傘下グループ企業

会社名・住所等	事業内容
株式会社立飛リアルエステート 〒190-8680 東京都立川市栄町六丁目1番地 立飛ビル3号館 TEL 042(529)1111/FAX 042(536)1110	開発対象不動産の所有及び賃貸
株式会社立飛リースホールド 〒190-8680 東京都立川市栄町六丁目1番地 立飛ビル3号館 TEL 042(536)1111/FAX 042(536)1272	開発対象外の特定不動産の 所有及び賃貸 住宅開発
株式会社立飛サービス 〒190-8680 東京都立川市泉町935番地27 236号棟 TEL 042(536)5501/FAX 042(529)7970	自動販売機による物販 保険代理店 電算業務
株式会社立飛プロパティマネジメント 〒190-8680 東京都立川市栄町六丁目1番地 立飛ビル3号館 TEL 042(527)5556/FAX 042(536)7776	警備業(警備業法認定番号: 東京都公安委員会 第30003815号) 不動産管理関連業務 建築物清掃業 (登録番号:東京都29清第1047号) 産業廃棄物収集運搬業 (許可番号:第13-00-185066号) 登録電気工事業 (登録番号:東京都知事登録 第275179号)
株式会社立飛ストラテジーラボ 〒190-0014 東京都立川市緑町3-1 W2 2階(GREEN SPRINGS マネジメントオフィス) TEL 042(524)2240/FAX 042(524)2241	不動産の開発企画他 宅地建物取引業(東京都知事(1)第101306号) 飲食運営及び物販
株式会社立飛ホスピタリティマネジメント 〒190-0014 東京都立川市緑町3-1 W1 (SORANO HOTEL内) TEL 042(540)7777/FAX 042(540)7851	ホテル運営

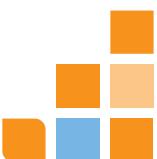
Map

所在地



 **TACHIHI**

<https://www.tachihi.co.jp/>



TACHIHI group makes the future a better place.